

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	デンマークの作業療法学校の校長を招へいし、認知症ケアについて講義から得たことを基に日々活動している。これまでの理念からより具体化したものへ変更したいと、職員一同で検討中である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	当法人の理念「綱領」を毎日朝礼時に全スタッフで唱和し、共有化を図ると共に職員間でも実現に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の代表や民生委員の意見をいただき公民館主催・高齢者向けの行事「いきいきサロン」に積極的に参加し交流を図っている。また、近隣の飲食店などにも協力をお願いして交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全てのスタッフで評価を行うことで、互いに日ごろ気づかなかった点を把握し、各スタッフで話し合い改善に向けた取り組みがなされている。	○	評価を生かし、さらによりよいサービスの提供に向け、計画を立て実践に向けた取り組みを期待したい。

宮崎県都城市 グループホーム2ユニットひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政職、民生委員、家族会の代表、市社協、事業所職員の参加のもとに運営推進会議を開催し、会議で出た意見等を参考にケアに生かしている。さらに、会議録を家族に送付し周知に努めている。	○	「施設入所感」を感じさせないために心配り、目配り、気配り等を強化し家庭的な雰囲気作りへ向けた工夫を期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課の職員に意見をいただいたり、介護相談員に積極的に相談し助言をいただきサービスの質の向上に生かしている。	○	さらに、市職員や介護相談員が職員や利用者との交流を深めていただけるよう期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	生活ぶりや健康状態などは定期的に電話で報告している。特に健康状態の急変など家族へ十分説明を行い家族の意向を考慮した対応を行っている。	○	職員の異動などが発生した場合なども、連絡事項に盛り込んでいただけることを期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱：ちょっと気がつきました」を設置している。記入いただいた意見に対しては、スタッフ会議等で協議しサービス提供に反映させている。また、家族来訪時には積極的に意見を引き出せるよう対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の影響を最小限に抑えるために退職の際は十分説明し、全員で記念写真を撮るなど、笑顔で見送りができるよう工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人、またはホームで研修を企画し、月1回の職員会議や中堅職員研修、考課者訓練等定期的に研修を行っている。また、社会福祉協議会などの主催の研修会にも参加し知識・技術の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地域のグループホームの視察を行ったり、研修の受け入れ、施設見学など積極的に行っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	その場の雰囲気になじめるよう各自の生活リズムやペースにあわせ、常に声かけ誘導し無理がないか意向を確認している。	○	入居前にお試し期間などをもうけて、徐々に馴染めるような取り組みに期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との生活の中で利用者から教えていただく部分も多く、素直に受け入れ利用者と支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	朝礼等で個々の対応を確認し、生活中でも本人の表情から推測しながら、生活リズムの安定化に向け努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ会議やケース会議時に、状態の経過や問題について話し合い、関係者の意見も加味しその都度工夫し介護計画を作成している。	○	さらに、スタッフ会議やケース会議および日々の申し送りにおいて伝達を行い目標達成に近づけるよう取り組みに期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個々のケアプランに沿ってケース記録を行い、変化のある場合など、その都度家族とも連絡を取り十分説明を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族と連絡を取り入所前の環境・趣味など聞き、生活歴に配慮し要望に沿うように努めている。また、ホーム便りに認知症に関連する相談を随時受けることができるよう掲載している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどの利用者の掛かりつけ医が協力医療機関であり、全員が月1回の物忘れ外来の受診や週1回の回診を受けるなど関係を密に図っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内にグループホーム以外のサービスも充実しており、家族の意向を聞き法人全体で最大の支援ができるよう話し合っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報にかかる同意書があり全職員周知し気配り、目配り、心配りに配慮した対応に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や散歩など一人ひとりのペースにあわせ対応している。また、行事等も企画しているが無理強いせず希望に沿った対応をしている。		

宮崎県都城市 グループホーム2ユニットひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	以前は、検食の職員以外は食事介助を行っていたが、すべての職員が同じ時間に同じ食事をとるようになった。法人内の農業部が作る無農薬野菜が食材として使われるなど工夫がされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1日おきに午後より入浴を実施している。本人の希望があれば対応できるように配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛り付け、食器洗い、食器拭き、洗濯物干し、洗濯物たたみ、花植え、草むしり等生活歴や現状を勘案し、できる限り楽しみながら役割を持たせるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの体調にあわせ希望があればその都度対応している。また、年3回イベントとして強制ではないが全員一緒に外出機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害は理解されているが、スタッフの手薄になる時間帯は施錠されている。	○	家族や地域の方が気楽に来訪できるためにも、できる限り開錠できるよう取り組んでほしい。

宮崎県都城市 グループホーム2ユニットひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災についての研修や、ホームでの火災訓練は行えているが地域への働きかけまでは至っていない。	○	他施設と連携を取り、地域の人々からも協力が得られるように努めていただきたい。現在近隣の方を含めた防災訓練の計画を進めているということなので、ぜひ実現していただきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事摂取量は毎日処遇表へ記載し、職員間で確認を行っている。食事量や栄養バランスについては同法人の管理栄養士と共に対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各共用空間には切り花や工作した物を飾り心地よく過ごせるよう配慮している。	○	玄関から居室までの導線がわかりづらい印象も受けるため、案内の掲示について検討をお願いしたい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前大切にしていた物等を持ち込まれ、本人が心地よく過ごせるような工夫がなされている。	○	利用者によっては殺風景で、なじみの物や持ち込みがない方もいらっしゃるため積極的な働きかけを期待したい。

※  は、重点項目。